

経営比較分析表（平成29年度決算）

岡山県瀬戸内市 瀬戸内市立瀬戸内市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
37,741	7,803	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

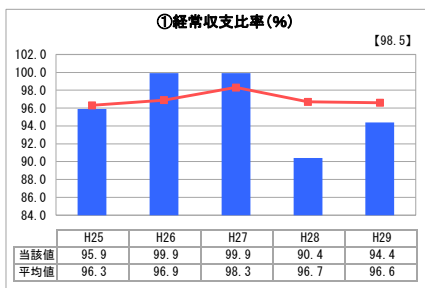
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	110
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	-	110

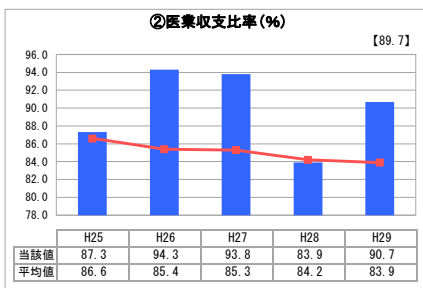
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

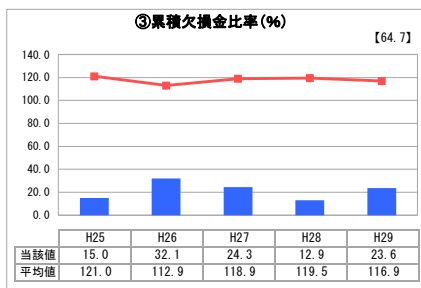
1. 経営の健全性・効率性



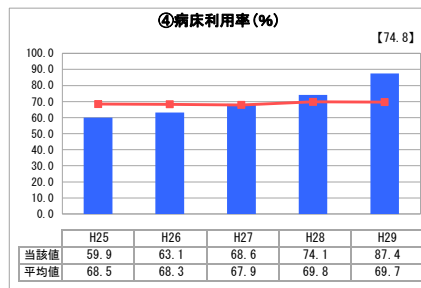
「経常損益」



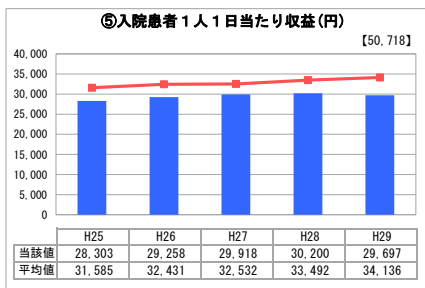
「医業損益」



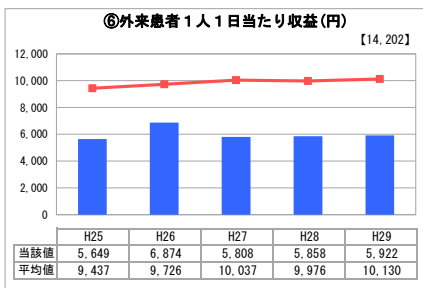
「累積欠損」



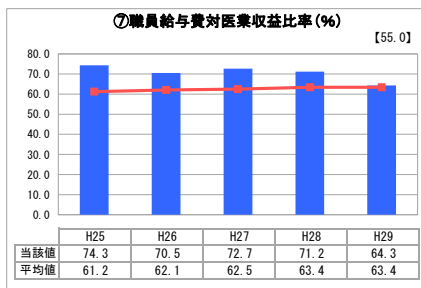
「施設の効率性」



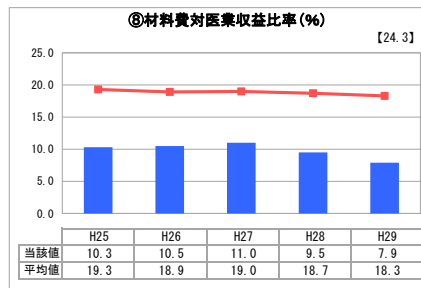
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

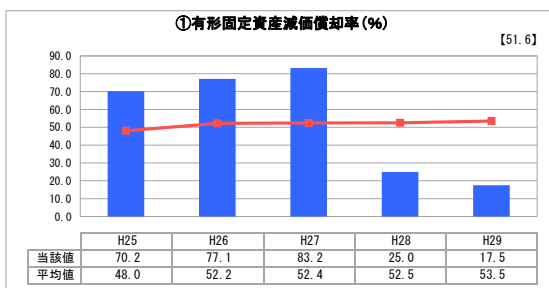


「費用の効率性①」

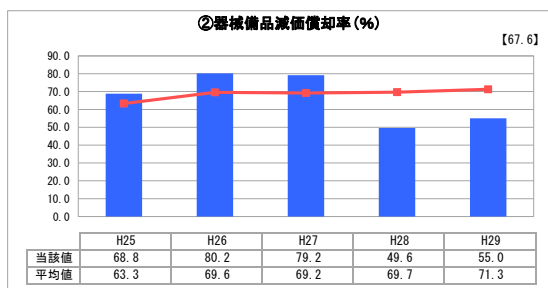


「費用の効率性②」

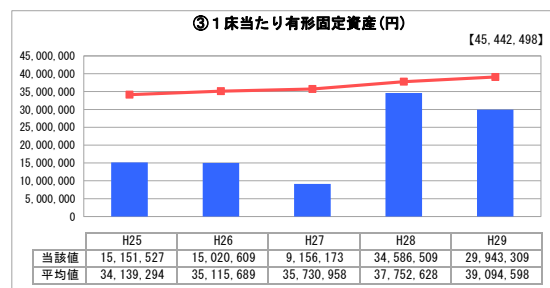
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

救急・小児に加え、心療内科といった不採算部門に関わる医療の提供。また、地域包括ケアシステムの担い手として、在宅との橋渡しの役割。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新病院効果で入院患者数が増加し、入院収益も増加しました。また、健康管理センターの開設により、健診収益も増加しました。しかし、新病院建設及びMRIなど高額医療機器の購入による減価償却費の増加、患者数増を見込んだ看護師等の採用による人件費増により、医業収支比率が90%までしか改善してません。

2. 老朽化の状況について

平成28年10月より新築した病院で運営を行っています。

全体総括

平成29年度は、1年間、新病院で運営を行っています。病床利用率は、87.4%と昨年度より約10%上昇していますが、入院患者1人1日当たり収益は、503円減少しています。新病院建設による減価償却費の増加により、支出面が旧病院時に比べ増加しており、その費用を入院及び外来収入でカバーする計画でしたが、そこまでの伸びていません。ただし、今後は、新病院建設時に設置した健康管理センターからの健診料収入の増加や地域包括ケア病床の増床による入院収益の増加が期待できます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。